

ジュニア選手育成強化事業「ひろしまスポーツアカデミー」の実施について

1 要旨・目的

スポーツ競技力向上のためには、ジュニアアスリートの発掘育成強化が課題である。このため、県では、将来、国際舞台で活躍できるアスリートの発掘育成強化を目指し、県スポーツ協会において、ジュニア選手育成強化事業「ひろしまスポーツアカデミー（第1期生）」を実施する。

2 現状・背景

特にマイナースポーツについては、小学校段階に競技体験機会を得ても、中学校段階で部活動がないなど練習環境が整わないことから、選手が県外に出てしまい、高校段階における全国大会での成績につながらない状況にある。

3 「ひろしまスポーツアカデミー」概要

(1) 対象者

県内中学生

(2) 事業内容（実施内容）

優れた指導者、練習施設、有望な選手等を有し、国体での得点が期待できる4競技（ボート・カヌー・ホッケー・ボウリング）に特化して、競技ごとに募集・選考、アカデミー生を決定し、中学校段階での育成システムを確立する。

競技名 (練習拠点)	アカデミー生	競技内容	主な指導者
ボート (廿日市市)	6名	水上の直線コースでオールを使い進行方向に背中を向けてボートを漕ぎ、着順を競う競技 (オリンピック競技)	元日本代表
ボート (福山市)	6名		
ホッケー (広島市)	27名	スティックでボールを操り、パスやドリブルを駆使して相手ゴールへシュートして得点を競い合う競技 (オリンピック競技)	コカ・コーラレッドスパークスOG
カヌー (江田島市)	8名	静水の直線コースで一斉スタートし、パドルを使って定められた距離をより早く漕ぎ、着順を競う競技 (オリンピック競技)	元日本代表
ボウリング (東広島市)	15名	10本のピンに向かってボールを投げる競技。世界選手権やジュニアの国内大会など目指す大会が多数あり	全国大会優勝経験者

(3) スケジュール

- 令和4年2月～3月 競技毎の選考会
- 令和4年4月10日 第1期生認定式・開校式
- 令和4年4月～令和5年3月 共通プログラム・競技毎の育成プログラム実施

(4) 予算（単県）

14,500千円（県スポーツ協会補助）

(5) 事業効果・検証結果

アカデミー修了生の県内高校への進学、国体（少年の部）での8位以内入賞

(6) 今後の対応

第1期生の育成、第2期生に向けた対象競技拡大の検討

4 その他（関連情報等）

[ひろしまスポーツアカデミーHP](#)